



試験所

# 認定証

認定番号 RTL03830

機 関 名 称 : 一般財団法人生物科学安全研究所  
事業部

所 在 地 : 神奈川県相模原市緑区橋本台 3-7-11

貴機関は本協会の下記の基準に適合していることが認められましたので、ここに試験所として認定します。

適 用 基 準 : JIS Q 17025:2018 (ISO/IEC 17025:2017)

認 定 範 囲 : 食品・医薬品試験, 生物科学試験(附属書による。)

事 業 所 : 附属書による。

有 効 期 限 : 2029年10月31日

改定日 2025年9月2日

更新日 2025年11月1日

初回認定日 2013年10月8日

公益財団法人

## 日本適合性認定協会

理事長

三木 幸信



認定番号

RTL03830

## 認定証 附属書

(1/3頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	一般財団法人生物科学安全研究所 事業部
機関所在地	神奈川県相模原市緑区橋本台 3-7-11

## 1) 試験を実施する事業所

事業所名称	一般財団法人生物科学安全研究所 事業部
〒	252-0132
所在地	神奈川県相模原市緑区橋本台 3-7-11
恒久的施設で行う試験か、 現地試験かの別	<input checked="" type="checkbox"/> 恒久的施設で行う試験 <input type="checkbox"/> 現地試験

## 認定範囲

分野	M27 食品・医薬品試験
分類コード	M27.A1.10.2
対象品目	卵および畜産物の筋肉

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
B8 高速液体クロマトグラフ 質量分析 HPLC/MS	※注記参照	RIAS ISO 17025 標準操作手順書 SOP No. II
【注記】※試験対象項目は次の通り		
スルファジミジン スルファジメトキシ ダノフロキサシン オルビフロキサシン フルベンダゾール 濃度 $\geq 0.005$ mg/kg	スルファモノメトキシ スルファキノキサリン シプロフロキサシン オフロキサシン オルメトプリム	スルファメトキサゾール スルファメラジン エンロフロキサシン オキシリニック酸
エリスロマイシン 濃度 $\geq 0.01$ mg/kg	アンピシリン	
タイロシン 濃度 $\geq 0.025$ mg/kg		
オキシテトラサイクリン クロピドール 濃度 $\geq 0.05$ mg/kg	クロルテトラサイクリン	テトラサイクリン



認定番号

RTL03830

## 認定証 附属書

(2/3頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	一般財団法人生物科学安全研究所 事業部
機関所在地	神奈川県相模原市緑区橋本台 3-7-11

## 認定範囲

分野	M27 食品・医薬品試験
分類コード	M27.A1.10.2
対象品目	水産物の筋肉

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
B8 高速液体クロマトグラフ 質量分析 HPLC/MS	※注記参照	RIAS ISO 17025 標準操作手順書 SOP No. II
【注記】※試験対象項目は次の通り		
スルファジミジン スルファジメトキシ オキシリニック酸 濃度 $\geq 0.005$ mg/kg	スルファモノメトキシ スルファキノキサリン オルメトプリム	スルファメトキサゾール スルファメラジン
エリスロマイシン 濃度 $\geq 0.01$ mg/kg	アンピシリン	
オキシテトラサイクリン 濃度 $\geq 0.05$ mg/kg		

## 認定範囲

分野	M27 食品・医薬品試験
分類コード	M27.A1.10.2
対象品目	はちみつ

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
B8 高速液体クロマトグラフ 質量分析 HPLC/MS	ミロサマイシン 濃度 $\geq 0.01$ mg/kg  オキシテトラサイクリン, クロルテトラサイクリン, テトラサイクリン 濃度 $\geq 0.05$ mg/kg	RIAS ISO 17025 標準操作手順書 SOP No. II



認定番号

RTL03830

## 認定証 附属書

(3/3頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	一般財団法人生物科学安全研究所 事業部
機関所在地	神奈川県相模原市緑区橋本台 3-7-11

## 認定範囲

分野	M32 生物科学試験
分類コード	M32.A2.1
分類名称	動物：血液

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
B1.5 中和反応	狂犬病抗体検査	狂犬病抗体検査業務標準操作手順書

## 【認定証に係る注記】

1)この認定は、上記規格に規定されたラボラトリ活動を対象とするものであり、規格に含まれるその他の活動、例えばリスクマネジメント、リスクアセスメントの実施等はラボラトリの認定された能力の範囲には含まない。

2)年号及び/又は版番号の表記がない場合、最新規格の発行後半年以内に最新版に対応した試験・校正・サンプリングを実施する。

3)FCC 向け EMC 試験所のみ

本認定は、試験対象品目が FCC 規制による承認を受けたことを意味するものではない。

FCC が承認した試験所の一覧は FCC ウェブサイト(<https://apps.fcc.gov/oetcf/eas/>) を参照のこと。

公益財団法人

日本適合性認定協会